

講義コード	11C0110700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	小林 啓祐	開講期	第1期
科目名	歴史学の世界				小林 啓祐		第1期		
履修前提条件					備考				
授業の目的	本講義では、歴史学の主要研究を引用しながら、現代の歴史学をとりまく状況や基本的な歴史学の概念について学んでいきます。また受動的な学習にとどまらず、2回あるテストでは、講義で学んだことをいかして、歴史学・歴史に関する課題に取り組んでもらいます。テストでは、これまで暗記することが多かった歴史について、自分の言葉で表現するという能力を身につけてもらいたいと思っています。講義中では適宜こうした歴史事象を文章で表すという練習もしてもらいます。								
到達目標	歴史学の基本的な研究史がわかる 多様な歴史主体について理解することができる								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	教科書等で講義の予復習をすることが求められる。(計60時間以上)								
授業計画	<p>【第1回】歴史とはなにか：ガイダンス、およびE.H.カー著『歴史とはなにか』を中心素材として、歴史に対する基本的な姿勢について学びます。</p> <p>【第2回】社会史の隆盛と歴史学のいま：社会史が歴史学にもたらした影響を中心として、歴史学をめぐる研究状況を概観します。</p> <p>【第3回】資料からみる歴史：歴史学研究の基礎となる、資料論について学びます</p> <p>【第4回】環境と歴史：環境問題を考えるいま、自然環境といった問題も歴史として見逃すことはできません。環境や科学技術などについて、歴史学がどのようにとらえてきたのかを学びます。</p> <p>【第5回】時間と歴史：人々が時間というものをいかに意識してきたのか、そして歴史としてどのようにとらえられてきたのかについて学びます。</p> <p>【第6回】地域史の位置：歴史というのは何も国レベルの歴史ばかりではありません。地域史と呼ばれる歴史と、全体史で描かれる歴史の関係性について学びます。</p> <p>【第7回】中間テスト：第6回までの内容の中間テストを行います</p> <p>【第8回】交易ネットワークと歴史学：国際的な交易ネットワークによって描かれる歴史像について学びます。</p> <p>【第9回】疾病と歴史：歴史学において身体、疾病といった問題、福祉・保健をどのようにとらえてきたかについて学びます。</p> <p>【第10回】人口を求める：近年では統計学などとの連携により、既存の歴史学ではわからなかったことが明らかにされてきています。講義では歴史人口学という分野が果たした役割について学びます</p> <p>【第11回】家族と共同体：家族や共同体といった社会と歴史の関わりを、とりわけ日本の社会を基底することとなる「イエ」制度を中心として学びます。</p> <p>【第12回】比較史という視点：比較史という視点をもたらし変化した変化について、マルク・ブロックを中心に学びます</p> <p>【第13回】歴史と時代：歴史の理解は常にその時代の価値観に左右されます。時代と歴史の関係性について学んでいきます。</p> <p>【第14回】まとめ</p> <p>【第15回】期末テスト：第8回から第14回までにかけての内容に関するテストを行います</p>								
成績評価の方法	2回のテストにより評価する。ただしレスポンスペーパーなどで積極的に講義参加した学生には、講義を活性化させたとして評価点を加える。								
フィードバックの内容									
教科書	『歴史学入門』福井憲彦（岩波書店）2006								
指定図書	『歴史学の最前線』史学会（東京大学出版会）2004、『歴史とは何か』E.H.カー（岩波書店）1962、『戦後歴史学と社会史』二宮宏之（岩波書店）2011、『オーラル・ヒストリー入門』御厨貴（岩波書店）2007、『時間意識の近代』西本郁子（法政大学出版局）2006、『歴史人口学のフロンティア』速水融、鬼頭宏、友部謙一編（東洋経済新報社）2001、『比較史の方法』マルク・ブロック（創文社）1978、『比較史の遠近法』斎藤修（NTT出版）1997、『20世紀日本の歴史学』永原慶二（吉川弘文館）2003								
参考書									
教員からのお知らせ	歴史を単に暗記するものではなく、ちゃんと知識として表現できるようになってもらいたいため、テストでは講義で学んだことを文章化してもらいます。暗記科目で苦手だった人も、臆せず履修してください。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									